

刮目せよ、共育ちの実力

ショウガの 分割まとめ植え

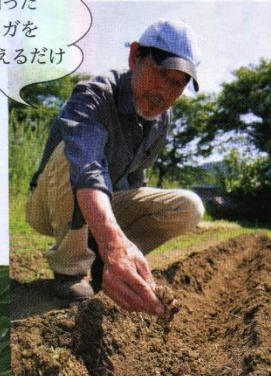
野菜づくり
道場
八

木嶋流

売り場で種ショウガを見て、「高いなあ」と感じている人は多いでしょう。となれば、できるだけたくさんの新ショウガを収穫したいと思うのが人情。今回は限られた量の種ショウガから最大限の収量を上げるための驚きワザをお教えます。ポイントは、「分割」と「まとめ植え」です。

指導／木嶋利男 栽培・文(P71~72)／神田賢志 取材・文／三好正人 撮影／若林勇人

小さく割った
種ショウガを
まとめて植えるだけ



師匠 きじまとしお

東京大学農学博士、MOA自然農法文化事業団理事、栃木県農業試験場生物工学部長などを歴任し、現在は若手農業者の育成に尽力中。「昔農家に教わる 野菜づくりの知恵とワザ」(家の光協会)をこの春出版予定。

弟子 かんたけんし

木嶋流野菜づくりを学ぶ農業青年農業系出版社に勤務後、海外などでの農業研修を経て、2020年から東京都八王子市で新規就農。現在は無農薬・無化学肥料で少量多品目の野菜を栽培。このたび木嶋博士に弟子入りし、指導を受けることになった



収量が段違いに
増えました!

分割まとめ植え

普通植え

講義編

分割で種ショウガが若返り、
共育ちにより生育旺盛に

種ショウガの保存は、難易度が非常に高いといわれます。収穫したショウガを貯蔵して翌春に植えつけようとしても、冬のあいだにしわしわになったり、腐敗したりして、なかなかうまくいきません。

そこで大抵の場合、種ショウガは購入することになりますが、国産品だと1kg当たり11,000円を超えることも珍しくありません。種ショウガが高価なだけに、賢く使うことで、できるだけ収量を増やしたいものです。

売られている種ショウガは、1片が100～300gほど。大きいほど養分が多く、育ちがよいと考えがちですが、それは勘違いというものです。大きな種ショウガをそのまま畑に植えても、収量はさほど増えません。茎葉の伸び出しが悪く、生育もゆっくり。種ショウガ自体の老化も進んでいるため、突然花が咲いて、そちらに養分を取られてしまうこともあります。

収量アップの秘訣は、種ショウガを分割して、1個40～50gにすること。折り分けた刺激で一種の若返りが起き、生育がよくなるのです。

種ショウガを小さくする方法は一般的な栽培でも行われることがあります。栽培面積の限られた家庭菜園で、さらに収量を増やす驚きのワザがあります。小分けにした種ショウガを単独で植えずに3個合わせる「まとめ植え」です。ネギやラッキョウなど単子葉植物（発芽時に最初に出てくる葉（子葉）が2枚（双葉）ではなく、1枚だけの植物）は、苗や種球をまとめて植えると「共育ち」をして、互いに働け合い、生育が格段によくなることが知られています。ショウガも、これらの野菜と同じ単子葉植物。まとめ植えすることで共育ちをし、収量がぐんと多くなるのです。

実習編

種ショウガを40g程度に分割し、 3個まとめて植えつける

畑の準備

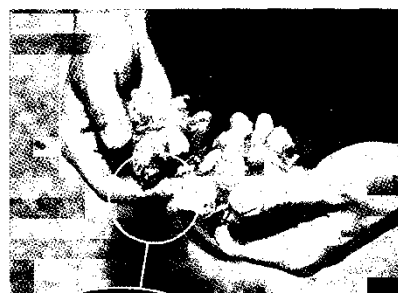
植えつけの3週間前までに、完熟堆肥やポカシ肥などを施し、よく耕しておく。

種ショウガの準備

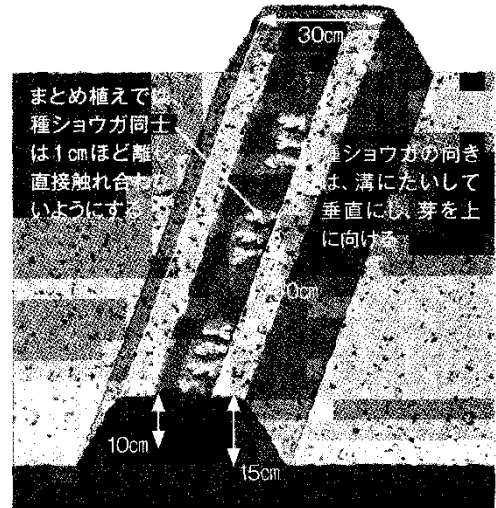
ショウガは、品種によって大きさが異なり、「大ショウガ」と「小ショウガ」に大別される。今回、神田青年が栽培したのは小ショウガ系の在来品種。種ショウガは刃物で切ると道管部が切断されて病原菌に侵されやすくなるため、手で折って分割。1片40g程度にする。

植えつけ

「分割した小ショウガのまとめ植え」「分割前の大ショウガ1個植え」「分割した小ショウガ1個植え」の3パターンで、各3株ずつ植えて比較することにした。



1片には、芽が2～3個つくようにする



畝の中央に溝を掘り、種ショウガを並べる。覆土が厚すぎると、地温低下によって発芽が遅れるので注意

報告編

種ショウガは、割って、 まとめて、植えるべし

弟子 地上部の育ちが悪かった「分割ショウガ1個植え」ですが、立派な塊茎が収穫できました。1株当たりの収量は少なかったのですが、もともと大きな種ショウガを3分割したものの3倍すると2,649g、「大ショウガ1個植え」2,370gを超え、割っただけで収量が増えたんですね。

師匠 種ショウガを分割することで起こる「若返り」効果を実感できただろう。貯蔵中のショウガでは、冬のうちに芽を出さないよう、発芽抑制ホルモンが作用している。このショウガを折り分けると、ホルモンのバランスが崩れて若返りが起き、生育が一気に進むと考えられる。

弟子 さらにびっくりしたのが「まとめ植え」により収量が増えたことです。地上部の育ちは大ショウガ1個植えと同じようでしたが、収穫時に茎を数えると、まとめ植えは、大ショウガ1個植えの3割増し。塊茎の総重量も、多くなっていました。

師匠 種ショウガについていた芽には、うまく出なかったり、生育途中で枯れてしまうものもある。まとめ植えと大ショウガ1個植えは、種ショウガの重さはほぼ同じなので、芽の数も同程度だったはずだ。茎の数に差があったということは、分割とまとめ植えて、うまく育つ芽の数が増えたことを示している。

弟子 まとめ植えは分割ショウガを3個使い、収量は3,080gで、種ショウガからの総収量への増加率は2.5倍です。分割ショウガ1個植えの収量を3倍した2,649g（増加率2.2倍）より多く、まとめることで収量がアップしたのがわかります。

師匠 面積が限られた畑でも、まとめ植えなら小スペースですむ。収量も増えて一石二鳥だ。



『やさい畑』（2020年4月春号）